

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 168号
6月11日(火)

残された時間の中で!

試合後にいただく各校の先生方からの話の中で、

「ここまで来たら気持ちの勝負。」

「最後は『チーム力』が問われる。」

「みんな必死にやるのは当然。他のチームに負けないくらいどれだけ必死にやれるか。」

「夏は何が起ころか分からない。諦めたチームが負ける。」

など、技術面よりもメンタル面についてのアドバイスをいただくことが多くなりました。みんなはその意味を本当に理解しているのでしょうか。

先日の清洲中学校での練習試合、みんなの心には何が残りましたか。最後に清洲中学校に競り勝ったことで“全て良し”としている人はいませんか。メンバーを替えながら全部で10セット行いましたが、その10セット全ての場面において自分自身の全てを出し切ることができたでしょうか。チームが一つになって取り組むことができたでしょうか。正直に言います。先生はみんなの取り組み・チームとしてのまとまりに満足していません。みんなならもっとできるし、それだけのことをしてきたはずと信じているからです。残された時間は、どこの学校も同じです。同じ時間をどう取り組むか、どんな気持ちでバレーボールと向き合うかで、まだまだ変わる余地はたくさんあります。テスト後の練習でのみんなの姿勢・表情を楽しみにしています。



【学習も集中力と準備】

今週末から期末テスト前ということで、部活の練習はなしになります。今回は期末テストなので、体育と技術家庭のテストもあります。

先生は、スポーツにも勉強にも共通している大切な点として“**集中力**”と“**準備**”があると思います。ただ長い時間机に向かっているだけでは学力はつきません。「理解しよう!」と必死になって問題と向き合うことが大切です。また、しっかりとした準備をしない限り、望む結果を得ることができないのも当然のことです。期末テストまで1週間です。どんな取り組みができるか、全てが夏につながっています。



【一年生へ】

みんなのバレーノートを初めて読ませてもらいました。何人かにはコメントを書きましたが、もっと試合を見たり、実際に自分が練習をしてみたりしたときの感想や考えたことなどを書きましょう。今、あなたたりが感じたり考えたりすることは、2年後にきっと大きな財産になるはずです。

